

提案募集FAQ

＜未来社会創造事業＞

| 質問番号 | 分類 | 質問 | 回答 |
|------|-------------|--|---|
| 1001 | ①テーマの設定について | テーマ提案に応募したが、テーマ提案の結果、不採択となったという理解で良いか。 | テーマ提案には採択、不採択という概念はありません。複数の提案の共通する内容を抽出あるいは組み合わせることで1つの重点公募テーマに作り上げています。また、提案されたテーマに加え、有識者へのインタビューやワークショップ等を踏まえて、重点公募テーマを決定しています。 同時に、提案者によって公開が許諾された提案については、研究者や産業界、社会の皆様が相互に連携を探る一助となることを期待して、ウェブ上で公開しています。 |
| 1002 | ①テーマの設定について | 今回公募する重点公募テーマ・技術テーマは今年度のみの募集か。 | 重点公募テーマについては、運営統括の総合的な判断により、再度同じテーマで公募を行うか、新しいテーマで公募を行うかが決定されます。 本事業においては予備的な実験データの取得や体制の構築を探索研究で実施可能としていることをご理解いただき、各重点公募テーマの募集要件に合致すれば、十分な実験データや体制構築ができていない場合でも、是非、本年度の応募をご検討ください。 技術テーマについては、今年度1回限りの予定です。 |
| 2001 | ②提案内容について | POCのイメージはどのようなものか。探索研究と本格研究のPOCの違いは何か。 | 当該事業におけるPOCは、社会に研究成果が広く還元される前の段階として、社会に成果を届ける役割を担う企業等が、事業活動の一環として研究開発成果を引き取る段階をイメージしています。 POCは本格研究終了時の到達目標です。探索研究終了時の到達目標は、本格研究の実現可能性を明確にすることであり、採択後はPOCを「運営統括と共に」適切に設定・調整し、本格研究における研究計画を具体化していただきます。 上記を踏まえ、提案書においては「提案者が現時点で考える」POCを記載ください。 |

提案募集FAQ

＜未来社会創造事業＞

| 質問番号 | 分類 | 質問 | 回答 |
|------|-----------|---|--|
| 2002 | ②提案内容について | 探索加速型の応募様式3にページ数制限はあるか。 | 探索加速型については、その実施期間の長短や準備状況、実施内容等について様々な計画が想定されるため、ページ数制限を設けていません。 ページ制限を設けている様式は以下の通りです。 探索加速型： 様式2 2ページ以下 大規模プロジェクト型： 様式3 4ページ以下 様式4 10ページ以下 |
| 2003 | ②提案内容について | 社会実装のためのグループとして、研究者ではなく実務家等のグループや知的財産にかかる調査をするグループ、自治体との協力等も考えられるが、そのようなチーム構成は可能か。 | 可能です。ただし、そのようなチームの活動にかかる費用が本事業の委託研究費の支出対象として認められるかどうかについては、公費支出であることや目的・手段・期待する成果等に鑑み、個々の内容等を考慮して判断させていただきます。 |
| 2004 | ②提案内容について | 研究開発代表者が行うマネジメント方針の、知財管理方法等に係わる方針について、探索研究は一つの機関で実施したい。その場合は、機関の知財ポリシーを使うということによいか。 | 提案書の項目は研究開発内容に関する記載を求めています。本項目は、各機関のポリシーや研究開発代表者のご意志などの総合的な検討や、本事業で提示する「知的財産マネジメント基本方針」を踏まえつつ、社会実装に向けて必要な知財管理の基本的な考え方を記載していただくことを想定しています。 |

＜未来社会創造事業＞

| 質問番号 | 分類 | 質問 | 回答 |
|------|-----------|---|--|
| 2005 | ②提案内容について | 【労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める『知』の拡張の実現】 対象外とされている「アプローチとして『脳』や『神経』への侵襲を含むもの」について、詳細を教えてください。 | 知の拡張のアプローチ(=手段)として、脳や神経への侵襲を含むものを、公募対象としません。侵襲とは、生体を傷つけるもののみならず、投薬や放射線照射等を含め、対象者の身体または精神に傷害または負担が生じることとします。 ただし、脳や神経への侵襲を伴う研究開発が、知の拡張の手段そのものではなく、例えば知の拡張の効果や程度の測定・評価・検証に用いる場合など、その研究手法に取り組むことが必要かつ合理的である場合、それらの研究開発を含む提案は、それを理由に排除されるものではありません。 |
| 2006 | ②提案内容について | 【労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める『知』の拡張の実現】 対象外とされている「対象として『心(情動)』を含むもの」について、詳細を教えてください。 | 知の拡張の対象として、感情(feeling)、情動(emotion)、気分(mood)を制御したり改善するなど、心に作用しようとする研究開発を、公募対象としません。 ただし、上記の研究開発が、知の拡張の対象そのものではなく、例えば知の拡張の効果や程度の測定・評価・検証に用いる場合など、その研究手法に取り組むことが必要かつ合理的である場合、それらの研究開発を含む提案は、それを理由に排除されるものではありません。 |
| 2007 | ②提案内容について | 【「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現】 提案書の書き方で、本格研究の予算はどのように書くべきか。 | 低炭素領域では、探索研究時のステージゲート評価等を踏まえて決定するため、本格研究の予算や年限を公募要領で記載していませんが、5年、総額5億円を目安にしてください。なお、様式1における本格研究の期間や予算の記載の有無・内容は選考評価の対象といたしません。 |
| 2008 | ②提案内容について | 【「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現】 採択予定件数は？ | 最大で20件程度を予定しています。 |

提案募集FAQ

＜未来社会創造事業＞

| 質問番号 | 分類 | 質問 | 回答 |
|------|----------------------|---|---|
| 3001 | ③採択後の事務手続きや経費の執行について | 探索研究から本格研究に移行した場合、研究開発代表者はJSTに所属するとあるが、どのような形態で所属することになるのか。 | JST所属の条件については、本格研究移行の際に、研究開発代表者とそのご所属機関を含め、JSTと調整をさせていただきます。 |
| 3002 | ③採択後の事務手続きや経費の執行について | 本事業における委託研究費は、どのような用途に対し支出可能か。 | 本事業における事務処理説明書は準備中です。誠に恐縮ですが、公募×切までに公開することができかねますので、現段階において、本事業における委託研究費の用途は、CRESTの事務処理説明書に準ずるものと想定をいただきたく思います。CRESTのFAQもご参照ください。 |
| 3003 | ③採択後の事務手続きや経費の執行について | 資金導入として認められる支出対象はどのようなものか。 | 本事業における事務処理説明書は準備中です。誠に恐縮ですが、公募×切までに公開することができかねますので、現段階において、資金導入として求められる支出対象は、「委託研究費における直接経費でも支出可能であるもの」と想定をいただきたく思います。 |